

2024
市場月報
(1 1 月)

釧路市公設地方卸売市場

目 次

[青果部]

1 1月の概況 -----	4 項
1. 開場日数及び入荷の動向-----	5 項
2. 種別取扱高実績表-----	5 項
3. 卸売の相手方販売実績及び累計表-----	6 項
4. 品目別入荷概況及び平均単価（野菜）-----	7 項
5. 品目別入荷概況及び平均単価（果実）-----	8 項

[花き部]

1 1月の概況 -----	10 項
1. 開場日数及び入荷の動向-----	11 項
2. 卸売の相手方販売実績及び累計表-----	11 項
3. 品目別入荷概況及び平均単価（切花）-----	12 項

凡 例

※卸売の相手方販売実績及び累計表中の金額は端数処理の関係上、取扱高等の金額とは一致しません。

[青果部]

- 品目の分類は、〈青果物統一コード表〉(青果物流通情報処理協議会)の細々分類コード(5桁)に基づいています。
- 数量<kg>・金額<円>で表示しました。なお、単位未満の数字は四捨五入の方法により整理しましたので、合計数字とその内訳数字が一致しない場合があります。

[花き部]

- 品目の分類は、5桁のコードを用いています。
6 0 0 0 1～6 5 9 9 9-----切 花
6 6 0 0 1～6 6 9 9 9-----切枝・葉
6 7 0 0 1～6 8 9 9 9-----鉢 物
6 9 0 0 1～6 9 9 9 9-----そ の 他
- 数量<本・鉢>・金額<円>で表示しました。

青 果 部

〈青果部業者数〉

仲卸売業者数 4 業者

青果買受人数 4 1 業者

1 1 月末現在

11月の概況

野菜	総入荷量	入荷量は1,557 tで、前年同月比 93.6%であった。 上位5品目では、人参が前年同月比202.4%、 玉葱が前年同月比 96.2%、 大根が前年同月比 86.9%、 キャベツが前年同月比 66.2%、 ねぎが前年同月比101.9%であった。
	総取扱金額	取扱金額では447,415千円となり、前年同月比102.6%であった。 上位5品目では、ねぎが前年同月比117.0%、 キャベツが前年同月比122.3%、 人参が前年同月比135.8%、 玉葱が前年同月比 74.2%、 大根が前年同月比106.0%であった。

果実	総入荷量	入荷量は659 tで、前年同月比 78.2%であった。 上位5品目では、みかんが前年同月比 88.2%、 柿が前年同月比107.1%、 りんごが前年同月比 94.2%、 キウイフルーツが前年同月比 63.5%、 梨が前年同月比130.8%であった。
	総取扱金額	取扱金額では300,649千円となり、前年同月比 89.9%であった。 上位5品目では、みかんが前年同月比113.6%、 りんごが前年同月比111.7%、 柿が前年同月比111.0%、 キウイフルーツが前年同月比 79.4%、 ぶどうが前年同月比 38.1%であった。

市場	野菜	<p>今月は、府県産中心の販売となったが、秋冬野菜全般において8・9月の高温・降雨の影響により作付けが遅れた上、根張りが悪かった事により生育も遅れたため夏物との端境が発生し、大根・キャベツ・レタス等は大幅な数量減・単価高となった。総体で数量は前年より約6%下回り、金額は約3%上回る結果となった。</p> <p>対前年同月比で単価高となった主なものは、パセリ・胡瓜・唐辛子・キャベツ・京菜・オクラ、また、単価安となった主なものは、人参・玉葱・アスパラガス・長芋・かんしょ・カリフラワーが挙げられる。</p> <p>また、平均単価は287円で、前年同月比109.5%であった。</p>
	果実	<p>今月は、露地みかんは表年ではあるものの昨年より入荷量が少なく、林檎も数量減・単価高で推移した。苺は高温の影響により品質不良が目立ったものの数量・金額共に前年を上回り、柿も数量増・単価高となったが、レモン等は販売不振で数量・金額共に大きく落ち込み、総体で数量は前年より約22%、金額も約10%下回る結果となった。</p> <p>対前年同月比で単価高となった主なものは、栗・みかん・キウイフルーツ・りんご・グレープフルーツ・パインアップル、また、単価安となった主なものは、梨・レモン・すいか・金柑・ぶどう・メロンが挙げられる。</p> <p>また、平均単価は456円で、前年同月比114.9%であった。</p>

1 開場日数及び入荷の動向

11月の開場日数	最 高 取 扱 高					
	取 扱 日	取 扱 数 量		取 扱 日	取 扱 金 額	
22 日 1月からの累計 232 日	25日 (月)	1,403 kg		25日 (月)	49,099,944 円	
1日平均	数 量 (kg)			金 額 (円)		
取 扱 高	当 月	前年同月	増 減	当 月	前年同月	増 減
合 計	100,856	119,452	△ 18,596	34,198,583	36,879,613	△ 2,681,030
野 菜	70,763	79,163	△ 8,400	20,337,040	20,759,355	△ 422,315
果 実	29,964	40,153	△ 10,189	13,665,856	15,925,833	△ 2,259,977
そ の 他	129	136	△ 7	195,687	194,425	1,262

2 種別取扱高実績表

(単位：kg, 円, 円/kg, %)

	項 目	当 月 の 取 扱 高	前 年 同 月 の 取 扱 高	前 年 同 月 比
合 計	数 量	2,218,836	2,508,489	88.5
	金 額	752,368,825	774,471,863	97.1
	平均単価	339	309	109.7
野 菜	数 量	1,556,793	1,662,414	93.6
	金 額	447,414,890	435,946,461	102.6
	平均単価	287	262	109.5
果 実	数 量	659,206	843,203	78.2
	金 額	300,648,823	334,442,502	89.9
	平均単価	456	397	114.9
そ の 他	数 量	2,837	2,872	98.8
	金 額	4,305,112	4,082,900	105.4
	平均単価	1,517	1,422	106.7

項目(等級, 階級) 単価×消費税×数量

3 卸売の相手方販売実績及び累計表

(単位：円)

	項 目	仲 卸 業 者	売 買 参 加 者	そ の 他	合 計
当 月	合 計	414,467,646	1,370,228	336,530,951	752,368,825
	野 菜	240,557,840	450,360	206,406,695	447,414,895
	果 実	170,522,306	857,714	129,268,799	300,648,819
	そ の 他	3,387,500	62,154	855,457	4,305,111
1 月 からの累計	合 計	4,560,542,329	19,512,254	4,765,271,105	9,345,325,688
	野 菜	2,778,192,511	6,970,346	2,885,845,095	5,671,007,952
	果 実	1,757,544,767	11,672,454	1,872,758,631	3,641,975,852
	そ の 他	24,805,051	869,454	6,667,379	32,341,884
4 月 からの累計	合 計	3,402,056,403	14,466,822	3,681,404,127	7,097,927,352
	野 菜	2,062,263,121	5,351,189	2,258,618,358	4,326,232,668
	果 実	1,326,536,693	8,459,372	1,419,812,994	2,754,809,059
	そ の 他	13,256,589	656,261	2,972,775	16,885,625

売上高金額×消費税

4 品目別入荷概況及び平均単価（野菜）

（単位：kg，％）

（単位：円/kg，％）

順位	品目	当月の数量	構成比	前年 同月比	平均単価			主要産地
					当月	前年同月	前年同月比	
1	にんじん	222,587	14.3	202.4	118	176	67.0	北海道
2	たまねぎ	221,345	14.2	96.2	111	144	77.1	北海道
3	だいこん	184,840	11.9	86.9	127	104	122.1	北海道
4	キャベツ	115,200	7.4	66.2	259	140	185.0	茨城県
5	ねぎ	110,039	7.1	101.9	457	398	114.8	北海道
6	馬鈴薯	105,480	6.8	83.6	110	101	108.9	北海道
7	白菜	97,882	6.3	74.0	118	84	140.5	茨城県
8	レタス	69,990	4.5	73.1	326	243	134.2	茨城県
9	ごぼう	54,030	3.5	239.9	172	168	102.4	北海道
10	かんしょ	53,035	3.4	109.1	276	295	93.6	茨城県
11	南瓜	45,239	2.9	156.6	215	222	96.8	北海道
12	ほうれん草	30,921	2.0	72.4	737	596	123.7	北海道
13	胡瓜	24,315	1.6	57.6	854	410	208.3	宮崎県
14	トマト	21,926	1.4	99.8	691	678	101.9	北海道
15	茄子	20,967	1.3	40.8	638	472	135.2	高知県
16	生しいたけ	19,040	1.2	94.6	972	878	110.7	北海道
17	にら	16,335	1.0	93.7	1,318	1,050	125.5	高知県
18	小松菜	14,868	1.0	66.6	539	347	155.3	茨城県
19	しょうが	13,776	0.9	91.8	708	696	101.7	高知県
20	ブロッコリー	13,438	0.9	107.0	660	437	151.0	北海道
	その他	101,540	6.4	79.7				
	合計	1,556,793	100.0	93.6				

5 品目別入荷概況及び平均単価（果実）

（単位：kg, %）

（単位：円/kg, %）

順位	品目	当月の数量	構成比	前年 同月比	平均単価			主要産地
					当月	前年同月	前年同月比	
1	早生温州みかん	254,754	38.6	82.0	394	305	129.2	和歌山県
2	しぶ柿	123,878	18.8	107.1	390	376	103.7	新潟県
3	極早生温州みかん	70,154	10.6	121.8	367	284	129.2	和歌山県
4	晩生りんご	67,947	10.3	101.8	569	483	117.8	青森県
5	キウイフルーツ	30,708	4.7	63.5	771	617	125.0	ニュージーランド
6	中生りんご	20,760	3.1	76.6	486	412	118.0	青森県
7	バナナ	15,398	2.3	68.2	283	258	109.7	フィリピン
8	赤なし	13,390	2.0	136.7	575	587	98.0	新潟県
9	露地ぶどう	13,230	2.0	38.8	1,149	1,175	97.8	青森県
10	レモン	12,550	1.9	16.9	264	278	95.0	チリ
11	パインアップル	12,166	1.8	40.6	264	236	111.9	フィリピン
12	西洋なし	6,452	1.0	120.0	441	616	71.6	山形県
13	ネーブルオレンジ	4,454	0.7	26.8	323	297	108.8	オーストラリア
14	いちご	3,076	0.5	105.3	2,612	2,420	107.9	宮城県
15	他の熱帯・亜熱帯性果	2,860	0.4	49.0	679	519	130.8	メキシコ
16	早生りんご	2,324	0.4	84.0	572	528	108.3	青森県
17	その他果実	1,395	0.2	68.6	1,528	1,291	118.4	和歌山県
18	グレープフルーツ	1,377	0.2	97.6	379	315	120.3	アメリカ
19	アールスメロン以外のメロン	993	0.2	62.0	618	525	117.7	メキシコ
20	ハウスすいか	802	0.1	60.2	473	497	95.2	熊本県
	その他	538	0.2	8.7				
	合計	659,206	100.0	78.2				

花 き 部

〈花き部業者数〉

仲卸売業者数 1 業者

花き買受人数 60 業者

11月末現在

1 1 月 の 概 況

花	総 入 荷 量	<p>入荷量は336千本・鉢で、前年同月比104.0%であった。 種別では、切花が前年同月比102.8%、 切枝・葉が前年同月比122.3%、 鉢物が前年同月比 59.5%、 また、主要3品目では、キクが前年同月比101.7%、 カーネーションが前年同月比133.1%、 バラが前年同月比 90.8%となった。</p>
き	総 取 扱 金 額	<p>取扱金額では41,399千円となり、前年同月比116.2%であった。 種別では、切花が前年同月比115.2%、 切枝・葉が前年同月比150.0%、 鉢物が前年同月比 58.4%、 また、主要3品目では、キクが前年同月比112.2%、 カーネーションが前年同月比136.5%、 バラが前年同月比 89.0%となった。</p>

市 況	<p>今月は、道内産から道外産への切り替え時期となった中、大輪は品種切り替え時期と重なり、小菊も産地の出荷が終盤となり数量減・単価高となったが、SP菊は数量・金額共に前年を上回った。カーネーションは道内産の出荷量が多く数量・金額共に前年を大きく上回ったが、バラは高温の影響に加え、イベント需要も少なく大きく落ち込んだ。かすみ草・トルコキキョウは道外産への切り替わりが早く数量・金額共に前年を大きく上回り、総体で数量は前年より4%、金額も約16%上回る結果となった。</p> <p>対前年同月比で単価高となった主な切花は、金魚草・HBスターチス・スターチス・カラー・小菊・デージー、また、単価安となった主な切花は、アリウム・ヒマワリ・テッポウユリ・アスター・チューリップ・コチョウランが挙げられる。</p> <p>全体の平均単価は123円で、前年同月比110.8%となった。</p>
--	--

1 開場日数及び入荷の動向

11月の開場日数	最高取扱高					
	取扱日	取扱数量		取扱日	取扱金額	
22日 1月からの累計 232日	1日(金)	本 360鉢		15日(金)	4,062,718円	
1日平均	数量(本・鉢)			金額(円)		
取扱高	当月	前年同月	増減	当月	前年同月	増減
合計	15,252	15,358	△106	1,881,756	1,697,250	184,506
切花	14,014	14,283	△269	1,759,916	1,599,888	160,028
切枝・葉	1,221	1,046	175	110,630	77,249	33,381
鉢物	17	30	△13	11,211	20,113	△8,902
その他	0	-1	1	-1	0	△1

2 卸売の相手方販売実績及び累計表

(単位：円)

	項目	仲卸業者	売買参加者	その他	合計
当月	合計	10,527,501	10,965,664	19,905,364	41,398,529
1月からの累計	合計	119,774,263	135,533,788	246,461,254	501,769,305
4月からの累計	合計	88,316,555	102,545,629	188,876,171	379,738,355

売上高金額×消費税

3 品目別入荷概況及び平均単価（切花）

（単位：本，％）

（単位：円，％）

順位	品目	当月の数量	構成比	前年 同月比	平均単価			主要産地
					当月	前年同月	前年同月比	
1	S Pキク	69,600	22.6	128.9	73	77	94.8	ベトナム
2	S Pカーネ	32,335	10.5	143.5	81	78	103.8	コロンビア
3	大輪	32,330	10.5	82.2	93	76	122.4	愛知県
4	小菊	17,190	5.6	72.4	81	54	150.0	奈良県
5	トルコキキョウ	15,270	5.0	122.7	317	304	104.3	高知県
6	カーネーション	15,177	4.9	115.2	82	81	101.2	コロンビア
7	スターチス	14,350	4.7	74.1	87	46	189.1	北海道
8	アルストロメリア	13,860	4.5	104.9	160	141	113.5	北海道
9	HB百合	12,370	4.0	109.1	364	345	105.5	北海道
10	ストック	11,565	3.8	102.9	157	144	109.0	鳥取県
11	ガーベラ	10,980	3.6	63.7	68	53	128.3	静岡県
12	かすみ草	9,510	3.1	194.9	201	215	93.5	和歌山県
13	ソリダコ	9,290	3.0	142.5	62	69	89.9	北海道
14	バラ	4,760	1.5	88.8	208	211	98.6	愛知県
15	デージー	3,450	1.1	93.8	95	66	143.9	アフリカ
16	デンファレ	3,270	1.1	172.1	77	77	100.0	タイ
17	S Pバラ	3,250	1.1	93.8	160	164	97.6	愛知県
18	グラジオラス	3,000	1.0	85.7	171	185	92.4	北海道
19	クジャク草	2,950	1.0	115.7	128	112	114.3	埼玉県
20	テッポウユリ	2,850	0.9	142.5	173	224	77.2	鹿児島県
	その他	20,956	6.5	73.6				
	合計	308,313	100.0	102.8				

釧路市公設地方卸売市場

指定管理者 釧路中央市場サービス株式会社

〒084-0904 北海道釧路市新富士町6丁目1番23号

電話 (0154) 51-4206番

FAX (0154) 51-4208番